

TOP > 観光スポット > 商店街、ショッピング > カリンバが買えるお店「R.M.kalimba/craft&junk」

シェア

ツイート



カリンバが買えるお店「R.M.kalimba/craft&junk」

2022.01.14 UP JR中央線沿線エリア 投稿者：まるっと中野編集部

[観光スポット] [商店街、ショッピング]



普通の一軒家と思いきや、中に入るとオールドギターやカリンバが！

アフリカの民族楽器である「カリンバ」と1970年代のオールドギターをメインに取り扱っている楽器屋「R.M.kalimba/craft&junk」。

お店は、中野駅南口から徒歩で10分ほどの場所にあります。[中野区立城山公園](#)がすぐ近くにある、のどかな住宅街エリアです。ここはオーナーである秋元さんの自宅と兼用となっているため、パッと見は普通の一軒家。玄関の横に掲げられている看板が目印となっています。



この看板が目印です！

ドアを開けると、10畳ほどの空間にオールドギターが並べられています。棚にはカリンバや雑貨、壁にはウクレレなどもディスプレイされていました。

まず気になったのは、店名にもなっている「kalimba（カリンバ）」（ちなみに、店名に入っているR.Mは、オーナーが以前に組んでいたバンド名から取っているそうです）。

「カリンバ」とはアフリカの民族楽器で、サムピアノといった名称でも知られています。楽器としてはもちろんですが、宗教的な儀式などにも使われているそうです。



秋元さんが手掛けた、アフリカの民族楽器のカリンバ。お値段は2000円台から。

「カリンバ」の演奏方法はいたってシンプル。箱に並べられた金属を弾くと音がなります。金属の形や長さ、厚さで音階が調整されていて、長い金属からは高い音、短い金属からは低い音が鳴ります。西洋楽器と違い「ドレミファソラシド」の音階がないのも特徴です（ただ、最近では一部のメーカーから音階をつけたものも販売されているそうです）。



指で金属を弾くと音が出ます。とっても簡単！

オーナーの秋元さんに、カリンバの良いところを伺うと「誰でも簡単に演奏ができるところ。特別な技術もありません」と答えてくれました。金属を弾くだけで音が出て、楽譜もないため、好きなように演奏できるのがカリンバの魅力とのこと。現地でも、好きに弾いて踊ったり、騒いだりしたりするそうです。

机の上にカリンバを置いておけば、デスクワーク中などの気分転換にもなるかもしれません。自由なメロディを奏でながら、鼻歌や自作の詞を歌ったりするのも楽しそうですね。

こちらのお店ではカリンバが2000円台から取り扱われており、気軽にチャレンジしやすいのがポイント。値段は金属（音）の多さなどで変化するそうです。



奥の大きなカリンバはタンザニア製のもの（非売品）。



こちらはジンバブエ製のカリンバ（非売品）。演奏すると、下の王冠もジャラジャラと鳴るそうです。

カリンバには王冠やビーズなどが付けられているものもありますが、これらは飾りではなく、実は音を奏でる楽器の一部。楽器を弾く際に王冠やビーズと一緒に振動することで、音が鳴るそうです。王冠やビーズのついた「カリンバ」の音色を聞いてみると、音に奥行きが感じられます（もちろん、ついてなくても素敵な音色ですよ）。



王冠が付けられた、小さなカリンバ。手軽に演奏が楽しめそうです。

「R.M.kalimba/craft&junk」で販売されている「カリンバ」は、全てオーナーの秋元さんによるハンドメイド。売りに併設されている工房で作られています。20年ほど前から、海外から輸入したものを見様見真似で作り始めたことがきっかけだそうです。いろいろな試行錯誤を繰り返し、現在に至っているとのこと。ぜひ、秋元さんの力作で、素敵な音色を奏でてください。



お店の奥にある工房。

他にも店内には70年代のオールドギターがいっぱい。同年代に青春を謳歌し、バンドの演奏に目覚めた秋元さんが集めたギターの数々が、秋元さんの手によって補修・販売されています。河合楽器がアメリカの商社の下請けで作った黎明期のギターやヤマハのグリーンラベルなど、通の方なら思わず「これは…！」と声を出してしまう、そんな名だたるギターが取り揃えられています。



店内には70年代のオールドギターがいっぱい！

その他にもクラシックなウクレレや、カポタストといったアイテムも販売中です。中には、空き瓶で作られたおしゃれなお香立ても。これらの雑貨アイテムは、すべて秋元さんが手掛けたものです。



壁には50年代や60年代製の、クラシックなウクレレが。

また、お店ではギターやウクレレのレッスンも行っているそうです。こちらは、気軽にマイペースで楽しめるコースということなので、気になる方はぜひチェックしてみてください。オーナーの秋元さんはトークが面白く、楽器や音楽の話はもちろん、いろいろなことで盛り上げられること必至です！



空き瓶で作られたお香立て。



カスタマイズされたカポタストも。他の人とは違った楽器に興味のある方におすすめ。

R.M.kalimba/craft&junk

所在地 中野区中野1-37-7

電話 090-1655-7134

営業時間 14:00~19:00

定休日 水曜日（不定休）

アクセス JR・東京メトロ「中野駅」南口から徒歩約10分

★公式サイトは[コチラ](#)



※問い合わせ先の記載がない記事については、まるっと中野編集部までお問い合わせ下さい。

掲載場所近隣の区民の皆様にご迷惑をおかけすることはお慮いいたしますよう、お願い申し上げます。

※掲載情報は全て記事取材当時のものです。